

# 令和5年度 公益社団法人曾於医師会 事業計画書

## はじめに

新型コロナウイルス感染症が始まって3年が経過する中で、現在その第8波が収束に向かいつつありますが、会員の先生方には新型コロナウイルス感染症対策だけでなく、曾於地区の様々な医療・介護にご尽力頂き厚く感謝申し上げます。

今年の春には、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、現在の2類相当から季節型インフルエンザ並みの5類に見直される事になりました。5類になればコロナ患者を受け入れる診療所や病院が増えると言われていますが、果たしてそうでしょうか。感染力の強い新型コロナに対して、一般社会が例えウイズコロナになったとしても高齢者や基礎疾患を有する患者が集まる医療機関や介護施設では、今後も空間的・時間的に動線を分けて、引き続きゼロコロナ体制を維持して施設内での感染防止に努めなければなりません。このような一般社会との乖離が、医療・介護従事者に混乱をまねかないように行政にはしっかりとした広報活動を希望します。又、医療提供体制や財政負担等の対応について、住民の新型コロナに対する不安の払拭や医療機関の負担軽減の為に、今後の変異株の感染力や重症化を慎重に見極めた上で柔軟で段階的な対応が望まれます。

令和5年度には、第8次医療計画の策定作業が進められます。新たに盛り込まれた新興感染症への対策以外に、地域医療構想、外来医療、在宅医療、救急・災害医療等が総合的に検討されます。医療計画は、地域や社会の医療ニーズの変化に合わせて医療提供体制を構築していく計画です。医療のニーズは、地域の人口動態により異なりますし、医師数の地域差が大きい為に地域ごとの医療提供体制の充実も異なります。したがって、それぞれの地域に適した医療体制を考えていかなければなりません。我々曾於医師会は、住民や自治体と一緒に地域の人人口減少、少子高齢化、職員不足等を考慮に入れながら、自らの地域に適した持続可能な医療体制を構築していきたいと存じます。

今後も会員の先生方のご理解とご協力を切にお願いする次第であります。

公益社団法人曾於医師会  
会長 手塚 善久

## 事業内容

- (1) 医道の高揚に関する事業
  - (a) 曾於医療圏の医療関連情報の整備
  
- (2) 医療の普及充実に関する事業
  - (a) 地域医療の充実強化に関する事業
  - (b) 地域医療に関する事業
    - ・日曜在宅当番医制度の維持・向上
    - ・夜間急病センター・救急情報センターの維持・向上
  - (c) 各種健診に関する事業

- (d) 予防医学に関する事業
- (e) 公衆衛生に関する事業
- (f) 災害医学に関する事業
- (g) 産業保健衛生に関する事業
- (h) 学校保健に関する事業
- (i) 大学の医学教育に関する事業

(3) 医師の卒後教育に関する事業

(4) 共同利用施設の運営に関する事業

- (a) 病院運営に関する事業
- (b) 介護老人保健施設の運営に関する事業
- (c) 訪問看護ステーションの運営に関する事業
- (d) 居宅介護支援事業の運営に関する事業

(5) 委託事業の運営に関する事業

- (a) 地域産業保健センターの運営に関する事業
- (b) 医療介護連携事業の運営に関する事業
- (c) その他委託事業の運営に関する事業